

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

● 単純ヘルペスウイルス1型・2型-IgG (依頼コード No.13011)

受託開始日 2017年4月1日(土) 受付分より

単純ヘルペスウイルス(HSV)には、HSV-1(1型)とHSV-2(2型)があります。これまで1型は主に唇にできる口唇ヘルペスや眼の角膜にできる単純ヘルペス角膜炎の原因となり、2型は性器ヘルペスの原因となることが知られてきました。しかし、現在では性器ヘルペスのうち約40%は1型が占めることが判明しています。HSV感染症の大部分は不顕性感染ですが、初感染発症の脳炎や性器ヘルペス等では重篤な症状が引き起こされます。宿主の健康状態により様々な形で再発を繰り返しますが、2型は再発率が高く、1型に比べて向神経性が強いとされています。そのため、1型と2型の判別が可能となることは治療の上でも意義があると考えられます。

本検査は、HSV表面の糖蛋白(glycoprotein G)のうち、型に対する特異性が高い領域の抗原を用いた、蛍光免疫法による型特異的IgG抗体検査です。単純ヘルペスウイルス感染症の診断および治療の一助として有用です。

裏面に続きます

株式会社 **第一岸本臨床検査センター**

札幌本社：〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎(011)787-2111 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

受託要領

	13011 (親) HSV1型・2型-IgG
依頼(報告)コード No.	(子) 22071 1型判定 (子) 22072 1型抗体価 (子) 22073 2型判定 (子) 22074 2型抗体価
検体必要量	血清 0.3mL
容器	B-1→S-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	3～6
検査方法	蛍光免疫法
基準値 (判定基準)	判定:(-) 抗体価:0.9未満 (-) 0.9未満 (±) 0.9～1.0 (+) 1.1以上
単位	判定:なし 抗体価:AI
報告範囲	判定:(-),(±),(+) 抗体価:0.2未満 0.2～7.9 8.0以上
報告桁数	抗体価:小数第1位
検査実施料/判断料	219点/144点(免疫学的検査)

本法は型特異性の高い抗原を使用していますが、既存のHSV-IgG抗体で用いられる抗原に比べて抗原量が少なく、免疫原性も弱いため、既存IgG抗体が陽性で本法は陰性となる場合があります。

【検査方法の参考文献】

川名 尚, 他: 日本性感染症学会雑誌 26, 53-59, 2015.